



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

職業奉仕・米山月間

第430回 平成8年10月11日(金)

〔本日のプログラム〕

- | | | | | | | | |
|--------|------------------------|--------|----------|---------|-----------|---------------|--------|
| 1. 点 鐘 | 2. ロータリーソング
「奉仕の理想」 | 3. 食 事 | 4. 会長の時間 | 5. 幹事報告 | 6. 各委員会報告 | 7. 会員卓話 土屋光弘君 | 8. 点 鐘 |
|--------|------------------------|--------|----------|---------|-----------|---------------|--------|

次回予告
*10月18日
創立10周年記念
大会準備委員会

*10月25日
職場訪問

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会長	伊東忠寛
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	徳丸彰一
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614- 佐土原町建築業協会内 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170	幹事	赤木達也
		会計	宮原建樹 会報委員長 垂水敏雄

第429回例会記録 (1996.10.4)

☆会長の時間

代理副会長 徳丸彰一君

皆さん今日は、本日は第429回例会です。伊東会長が所用のため出席できませんので、私が代行させていただきます。

先日は、ご家族と共に本当に楽しい観月会を開催できまして、親睦委員会の林委員長をはじめ委員の皆様に厚くお礼申し上げます。

最近所用のため未知の某市を訪問し、市内のロータリアン35名の方を2日間で歴訪しました。皆さんが初対面でしたが、「佐土原RCの徳丸です。」と挨拶しますと、まるで10年来の友達のように親しく応接していただきました。

このとき私は、ロータリークラブに入会して良かったとしみじみ思いました。

まさに本日のロータリーソング「それでこそロータリー」の歌詞にあるとおりでした。

日本一の長寿者は山口県の112歳の女性だそうですが、その方の主治医の談話が新聞に載っていました。

それによりますと、『節度・礼儀正しく、好き嫌いをはっきりしてストレスを溜めない、感情豊かに明るく毎日をエンジョイする』ことが長寿の秘訣であると言っておられます。

私達日本人は、義理人情とか、相手の感情を害することを気にして、好き嫌い、イエス、ノーをはっきり言うことを避け

たがりますが、これもストレスの一因になるのかなと感じた次第です。

まあ、こんなことも参考にされて、心身共に健康な毎日を送っていただきたいと思います。

☆幹事報告

赤木達也君

1. 第2720・第2730地区連合年次大会参加登録者のお名前を、確認の意味で読み上げます。

伊東忠寛君・赤木達也君・宮原建樹君・伊東俊春君・藤堂孝一君・梶田與之助君・林 厚雄君・郡司武俊君・加藤仙之君・池田仁志君・正岡文郁君・吉田康一郎君・恒吉正志君・福井輝文君・濱田松太郎君・岩切正司君 (順不同)

合計16名

2. 来週(10月11日)は夜間例会です。

3. 都城北RC創立30周年記念式典が、11月19日(火)の16:00より都城ニューグランドホテルで開催されます。登録料10,000円

4. 例会変更通知

*宮崎RC 10月8日12:30
吉川セミコンダクタ(株)

*宮崎中央RC 10月10日は休会

*高鍋RC 10月10日は休会
" 10月17日の例会場
は高鍋不燃物最終処理場
" 10月24日7:00
公園清掃

*日向RC 10月14日の例会は
10月13日13:00に変更
日向市中央公民館

*日向RC 10月21日12:30 永寿園
*都城中央RC 10月17日 18:30 清淨館
*宮崎北RC 10月23日18:00 ホテル・フェニックス
" 10月13日12:30 青島パームビーチホテル
*日向東RC 10月15日12:30 放送大学
*延岡RC 10月16日18:30 ホテルごかせ
*都城RC 10月18日 7:00 都城地方公設市場

5. 本日配布しました「ロータリーの友」誌の29ページに、前年度久峰総合公園に設置しました環境美化啓蒙立看板の贈呈式の記事が載っています。
藤堂前会長が上田町長に目録を贈呈されている写真が出ています。
6. 10月各班連絡担当の方はよろしくお願い申し上げます。

☆ガバナー・ノミニー図師鎮雄君のご挨拶

皆さん今日は、この度は、次年度の地区行事に対するコ・ホストクラブをお引き受けくださいまして、誠に有り難うございました。厚くお礼を申し上げます。

1年前、ガバナー・ノミニーを引き受けことになりましたが、月日が経つにつれ、ガバナー・ノミニー、ガバナーの職責の重大さをひしひしと身に感じております。今年6月に国際大会がカルガリーアでありました。7月には東京でガバナー・ノミニーの研修会があり、9月にも

同様な会合がありました。11月には、第2回ガバナー・ノミニー研修会が神戸市であります。4日間の缶詰教育です。

年が明けますと、3月2日から15日間、アメリカのアナハイムでの国際協議会に出席しなければなりません。
帰国して、4月6日にP.E.T.S.を行い、5月18日には地区協議会、地区大会を11月7日~9日に開催する計画です。
どうぞ皆様方のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

☆出席報告

委員長 山本民生君

会員数	31名
H C出席者数	24名
欠席者数	7名
出席率	77.4%
マークアップ者数	3名
修正出席率	87.1%
欠席者名	細田・加藤・鶴見・井下

◇ 本日のビジター ◇

西都RC 図師鎮雄君
" 長谷川裕康君

☆会計より

宮原建樹君

9月27日の『観月会』の会費が32名で均等割りしますと6,750円になります。お一人7,000円で、端数はハッピー会計に繰入れさせていただきたいたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(全員の賛同がありました)



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

職業奉仕・米山月間

第431回 平成8年10月18日(金)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「我等の生業」
3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 創立10周年記念大会
準備委員会
8. 点 鐘

次回予告

- *10月25日
職業奉仕委員会
職場訪問

*11月1日
セレモニー
会員卓話
恒吉正志君

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913
事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614-
佐土原町建築業協会内
☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

会長 伊東忠寛
副会長 徳丸彰一
幹事 赤木達也
会計 宮原建樹
録音 垂水敏雄

会員情報セミナー
12月1日

12:10分集合

池田工場

午後2時半から

第430回例会記録 (1996.10.11)

☆会長の時間

伊東忠寛君

皆さん今晚は、本日は第430回例会です。前回は出張のため、徳丸彰一副会長に代行していただきましたが、素晴らしい会長ぶりを発揮されたとのことで、「月に1~2回やつてもらつたら…」との声もいただきました。本当にご苦労さまでした。

今日は、私が『ロータリーの友』を通じて素晴らしい出会いと力強いご支援をいただきましたので、その事を紹介させていただきます。

私の義弟は、2年前に交通事故で頸椎損傷のため全身麻痺で、自発呼吸もできないまま植物人間同様の毎日を送っていますが、病院の関係者のみなみならぬご努力にもかかわらず快復の兆しもなく、厳しい状態が続いています。

このような中で、『ロータリーの友』1995年度3月号の「友愛の広場」に、[外出した頸椎損傷の少女]と題する寄稿が目にかかりました。

私の義弟の症状と同じで、しかも幼い少女が、厳しいリハビリと闘い、麻痺は快復しないまま中学校・高校まで進学し、現在では『特製のワープロ』の訓練に挑戦していることが書いてありました。

私は、この記事を義弟やその家族に読んでやり、少しでも皆の励みになればと思いました。いや、患者をはじめ周囲の者の大きな励みになったと信じています。

最近、口が効かない義弟と家族の意思の疎通をスムーズにできないものかということが課題になり、病院関係者からいろいろな資機材の紹介がありました。

そこで私は、『ロータリーの友』に投稿された第2780地区厚木中央RCの塙塚幸彦先生に、不躾でしたが手紙で、その特製ワープロに関する情報のご紹介をお願いしました。

ところが、塙塚先生から直ちに私にお電話がありまして、資料のご紹介をはじめ「育児センター」、専門医師のご紹介など何回となくご連絡いただき、さらにお勧めの言葉までいただき、現在も何かと心温まるアドバイスをいただいています。

私は『ロータリーの友』を通じて貴重な出会いをいただき、ロータリアンの友情の素晴らしさを実感し、感動したのであります。

そして、今後とも『ロータリーの友』を愛読し、自己啓発とロータリーとの絆を深めることに努めたいと思います。

次に、先日竹内三郎パスト・ガバナーからお電話がありまして、次年度は西都RCの団師鎮雄君がガバナーに選出されるので、隣接の佐土原RCから是非とも分区代理を推薦していただけないか、とのご要請がありました。次年度は当クラブの創立10周年の節目もあり、おめでたいことだと考えますが、皆さんのご意見をお伺いします。（出席者全員賛成）

それでは、チャーターメンバーで会長歴があり、当クラブの発展・充実に実績のあった会員を対象に検討を進めます。

☆幹事報告

赤木達也君

1. 本日昼間にビジターが3名お見えになりました。
2. 西都RCの例会場の住所が、10月8日から次のように変更になりました。
新住所 西都市大字右松3116-2
(旧敷島の北側です。)

☆出席報告

山本民生君

会員数	31名
H C 出席者数	23名
欠席者数	8名
出席率	74.2%
マークアップ者数	4名
修正出席率	87.1%
欠席者名	森田・佐野・岩切

☆会員増強委員会より

委員長代理 福田誠君

10月6日に開催されました地区会員増強委員会に、正岡委員長の代理として出席しましたので、会議の概要を報告いたします。

地区の各クラブとも会員増強について努力はしていますが、1995年～96年の入会者は地区合計355人に対し、退会者が314人で、現実にはあまり会員が増えていない状態だそうです。

その原因、打開策などについて意見を出し合い、協議をしました。

先ず、時代のニーズが多様化てきて、いろいろな独自のボランティア団体に加

入する人が多くなり、ロータリーへの勧誘が難しくなってきている、ということです。この傾向はアメリカでも増大しつつあり、大都市ではロータリークラブ会員が次第に減っているそうです。時代のニーズに対応するため女性会員を入会させると、以前からの男性会員が、自分の感覚と合わないと言って退会する例もアメリカやイギリスに多いということです。

会員の退会防止についての意見の中で、クラブの諸行事をするときに配偶者や家族にも参加してもらい、交流によって親睦と相互理解を深めることが必要である、との発言には多数の同意がありました。

今回の会合を終えて私が感じたことは、会員増強は数だけではなく、しっかりとロータリークラブに定着できる人を、着実に獲得していくことが肝要である、ということです。

☆会員卓話

土屋光弘君

本日は『佐土原町と水』というテーマで話してみたいと思います。

佐土原町は現在人口が3万3千人弱で、流域面積が約54km²あります。

私達が使っている生活用水・飲料水・工業用水など一ヶ瀬川から取り入れている水は、1日1万トンです。通常、河川からの給水量は秒単位で量りますので、 $10,000\text{トン} \div (60\text{秒} \times 60 \times 24) = 10,000\text{トン} \div 86,400\text{秒} = 0.1\text{トン/秒}$ になります。

渇水期に一ヶ瀬川は何トンの水が流れているかといいますと、統計的には毎秒4トン（1日34万トンくらい）です。

それでは、洪水時には一ヶ瀬川にどのくらいの水が流れるのでしょうか。

一ヶ瀬川の流域は約840km²、川の延長は95kmくらいですが、その流域に降る雨量（一ヶ瀬川の場合は、50年に1回降る雨を対象にする）を河口でチェックし、統計的に確率計算をしますと、毎秒5,700トン（渇水期の約1,400倍）になります。

もう一度整理してみると、一ヶ瀬川を流れている水が當時4トン／秒ありますが、そのうち0.1トン／秒程度しか佐土原町は使っていません。残りの水は殆ど農業用水と他市町村で使われていることになります。

農業用水は、ご承知のように古くから使われている水で、河川法が明治29年に制定された時から中心的な位置付けがされて来ています。

昭和40年、新河川法が制定されました。農業用水についてはすべて慣行水利権が認められました。ただし、その後に発生して来る水需要に対しては、河川法に基づいて申請しなければなりません。

現在一ヶ瀬川は1トンの剩余水もありません。佐土原町住民1人当たり1日の水使用量は（1万トン÷33,000人）約300ℓですが、先進県の都市部では600ℓが必要と言われます。

佐土原町長期計画では、将来の人口を4万人～4万5千人と想定していますので、水需要量を1人1日600ℓとしますと、1日2万5千トンの給水が必要になり、1万5千トンほど不足することになります。

これについては、すでに行政側で水源の確保が進められているようです。すなわち、西都市の三財川の上流にダムを建設し、そこに1万5千トンの水を貯える計画あります。それによって、一ヶ瀬川から取水することができるようになります。

福岡市は、1年の中で給水制限をする日が300日あります。宮崎県に住んでいる私達は、水に対する不自由さをあまり感じませんが、世界的にも、国内でも、水資源をどのように確保していくかが重要な課題となっています。

宮崎県内でも、必ず渇水に悩む地域があります。それは、日南・串間辺りの海岸地帯です。

石崎川の流域は50km²くらいですが、そこに5か所ゴルフ場があります。一つのゴルフ場が100ha～150haありますので、全体で約7.5km²にもなるわけです。従来は山林か田畠であったところで、保水機能が高かったのですが、張芝のゴルフ場は殆ど保水ができません。

ただ、雨水の洪水化を防止するためにゴルフ場内に池を設け、雨水の排出を調整するように規制はしていますが、地下に浸透する水は殆どありません。

このような流域事情で、石崎川にとつて水問題はかなり厳しくなるであろうと考えられます。恐らく、魚が住めるような環境の川として維持できるかどうかという問題が生じると思われます。

[佐野会員の卓話は次回に掲載させていただきます。卓話の概要の原稿大歓迎]